



「小江戸川越防犯のまちづくり情報」
メール配信サービス実施中
kawagoe.bouhan@mpme.jp
*登録を希望する方は、空メールを
送信してください。

小江戸川越防犯けいはつ隊(市防犯パトロール支援車)

市では、毎週、青色回転灯装備の市防犯パトロール支援車で、安全安心生活課および教育委員会の職員が巡回しています。実施に当たっては、市民の皆さんの身近で発生している犯罪や児童生徒に対する声かけ事案などの状況を踏まえ、川越警察署と緊密な連携の下に行っています。街頭犯罪の防止や下校時間帯の児童生徒の安全を守ることが、主な目的です。



平成十七年度中に平均して月一回以上、自主的な防犯パトロールを実施している自治会は二百二十でした。これは市民の皆さんによる、積極的な地域防犯活動の成果です。支援車の巡回中に、自治会や学校関係者の皆さんと出会った際には、情報の提供や防犯に関するお願いをしながら、地域でより効果的な自主防犯活動ができるよう、支援に努めていきます。

問い合わせ

安全安心生活課防犯推進担当
・ 丸内線2471

人権教育シリーズ

子どもの虐待を理解するために⑫

人権推進課人権推進担当・丸内線2282

このシリーズは、平成十七年二月に小児科医・坂井聖二さんを招いて行った、人権問題講演会の要旨をまとめたものです。

私が小児科の病棟の責任者という立場になって、若い小児科医を指導するようになったときに、頭がい骨骨折の赤ちゃんに出会いました。この子のお母さんの話を聞いたとき、虐待に違いないと思って、この家族のことを調べてみました。そうしたらこのお母さんは、地方からほとんど駆け落ち状態で親族からも大反対されて東京に出てきて、とても小さな赤ちゃんを産んで、とても育児がたいへんだったということがわかりました。また、育児も苦手なようでした。お母さんはつらかった。しかもその時にお父さんが結核を発症し、失職してしまいます。近所に知り合いもないし、親族にも頼めないし、赤ちゃんはとても小さくて育てるのが難しい。そういう状況の中で虐待が起こったんですね。

このケースはお母さんが強引に退院させたいと言うので子どもは退院しましたが、私は何とか退院後もお母さんとよい関係を持つ

て、家族を援助したいと思っていました。信頼関係をどうやって構築するか、なんてよくいますけれど、そういう形で外来で診ようと思っていたところ、なかなか外来にもお母さんはきちんと来なくて……。そしてある時、この子どもが自宅で死んでいたというところで、警察から私の病院に通報がありました。死因に不審な点があるので、主治医である私に事情を聞きたいということでした。

このケースで私が訴えたいのは、先ほどの母親を援助すべきである、家族を援助すべきであるといいましたけれども、その時に私はまちがってしまったわけです。家族を援助するといっても、そこに幼い子どもがいるときには、事情によっては子どもの生命に危険が及ぶことがあるということですね。援助の目的は、何なんですか。それがわかっていないと、取り返しのつかないことになってしまいうことがありません。(つづく)

親子で選挙を考えよう②

選挙管理委員会事務局・TEL内線3713

●ねずみの相談(イソップ物語より)

「猫から身を守るためには、どうすればいいだろう」。ねずみたちが、集まって相談をしました。「いい考えがあるぞ。猫の首に鈴を付ければ、チリンチリンと鈴が鳴って、猫が来たことがすぐにわかるぞ」、「それは、うまい考えた」。ねずみたちは大喜びで賛成して、鈴を用意しました。ところが困りました。いったい誰が、恐ろしい猫の首に鈴を付けるのでしょうか。「ああ、怖い。僕はごめんだ」、「わたしもいやよ」。これではいい考えも、何にもなりません。

実行できなければ、どんなにすばらしい考えも、意味がありません。市民の皆さんの考えを、代表して実行してくれるのが、政治家の役割の1つです。



埼玉県の選挙統一キャラクター「選挙くん」

みんなの作文

楽しい家ぞく

霞ヶ関南小学校三年

高野正人

ぼくの家ぞくは、五人家ぞくです。

ぼくのお父さんは、おしごとを、日曜日とカレンダーの赤い日しか休みません。毎日ががんばってはたらいっているから、「すごい」と思います。

つぎに、ぼくのお母さんは、いつもおいしいごはんを作ってくれたり、学校やサッカーのやくいんをやったりしているから「すごい」ってかんしやしています。

つぎは、ぼくのお兄ちゃんです。お兄ちゃんはサッカーがうまくて、お休みの時はぼくにサッカーを教えてくださいま



す。おかげでぼくは、サッカーがうまくなりました。だからお兄ちゃんは、「すごい」ってたよりにしています。

つぎに、ぼくの妹は力が強いんです。年長ですもうをやったら、みんなにかたつたつて言つてたから、「すごい」ってかんしんしてしまいました。

さいごにぼくは、サッカーのキーパーになりたいから、れんしゅうをがんばっています。少しうまくなったから、強いあいてとしあいをする時にキーパーをたのまれたりします。あいてに点を入れられなかった時、「すごい」って思います。でも、そう思えるのはみんなのおかげだなあつと、思いました。

大きくなったら、サッカーせん手になってかつやくして、家ぞくとおいしいものを食べに行きたいです。ぼくは、家ぞくが大好きです。

*ふりがなは広報室で付けました。

ぼしゃべり倶楽部 217 植物あらかると

白いタンポポ



北公民館周辺で行われた新河岸川桜まつりの取材中、川べりに白いタンポポを見かけました。後日あら

ためて、白いタンポポを探しに出かけました。視線を下に向け川沿いを歩いていると、黄色いタンポポに混じって白いタンポポの花がいくつか咲いていました。

この花は、中国・四国・九州地方に分布しているシロバナタンポポという種類。これらの地方ではタンポポといえば、シロバナタンポポを指す所もあるそうです。

西日本のどこかから、川越に根付いた白いタンポポ。桜の時期が終わって、小さいながらもその存在を示していました。

短歌

四元仰・選

自転車の前籠に花と酒入れて夫の命日の墓参に向う
路のとうみどりのつぼみのぞかせて一足早い春を告げおり
何時よりか夫のあゆみの遅くなり歩を合わせゆく桜堤を
ふくいくと梅の香におえば向き変えて駅への道を遠まわりする
詩を詠むこの一時がまた楽しうたかたの夢の愛しさのような

俳句

石川俊一・選

うき世よりしばし離れて雛飾る
足音に飛び立つ鳥や水温む
夫病みて寝がさ小さき蒲団かな
嶺分けてしろがねとなす雪解川
日差し濃き棚の埃の目立ちをり

川柳

小川正夫・選

パソコンもメールも打てずうどん打つ
新茶入れ茶柱今日はいいい日かな
七十の弱気卒寿に笑われる
菅蒲湯に入れた長男二児のパパ
宣誓の声青空へ吸い込まれ

応募方法（7月掲載分は5月31日(木)必着）
●短歌部門＝当季雑詠3首まで、俳句部門＝当季雑詠2句まで、川柳部門＝雑詠3句まで
●市内在住・未発表・創作のもの・かい書で明記・すべての漢字にふりがなを付ける・作品の返却なし・掲載時に選者が手を加える場合あり
●ハガキに部門・作品・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広報室

大嶋操(砂新田)
滝沢すい(池辺)
寺田千代子(仙波町二丁目)
西角美知子(広谷新町)
山本泰寛(藤原町)